

# 第1編 令和3年度地方公営企業決算の概要

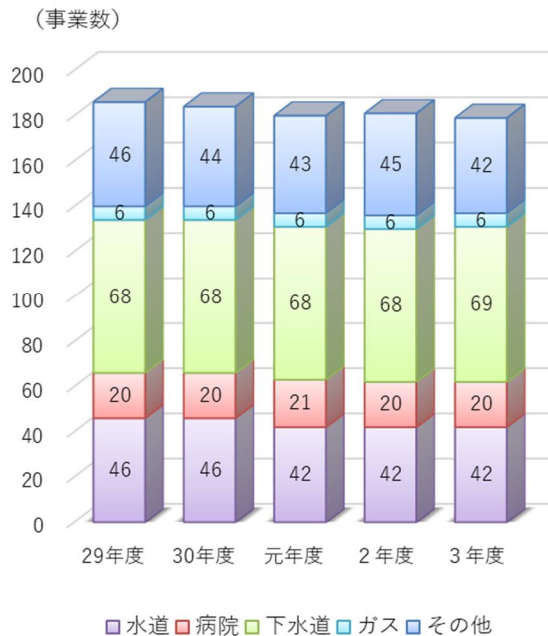
## 第1章 総論

### 第1節 事業数

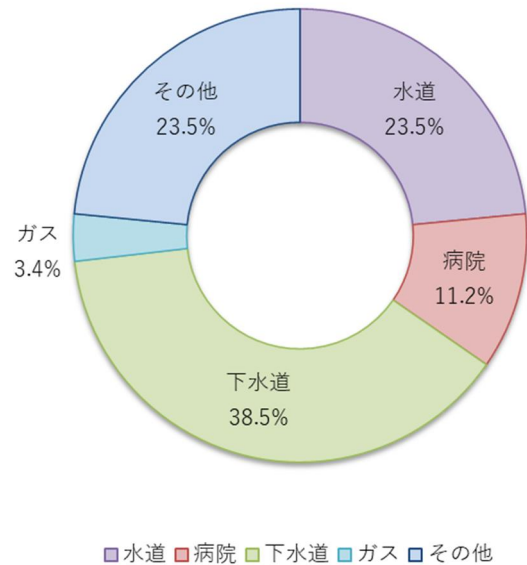
事業数は、令和3年度末現在179事業で、富津市の観光施設事業の減少等により、前年度末と比べ2事業減少した。

事業別にみると、下水道事業が最も多く、次いで水道事業、病院事業となっており、3事業で全体の約73%を占めている。

事業数の推移



事業数の状況



### 第2節 業務の状況

令和3年度における主要な事業の業務の状況についてみると、次のとおりとなっている。

#### 1 水道事業

水道事業（用水供給事業を除く。）においては、配水能力120万2,891m<sup>3</sup>/日、導送配水管1万6,817kmを有し、年間2億9,032万9千m<sup>3</sup>の配水を行っており、前年度（2億9,209万4千m<sup>3</sup>）に比べ176万5千m<sup>3</sup>、0.6%減少している。また、1日平均配水量は、79万5,422m<sup>3</sup>となっている。

#### 2 病院事業

病院事業においては、20病院、病床4,043床を有し、年間288万6,350人（外来患者193万7,147人、入院患者94万9,203人）の患者に対して医療を提供しており、前年度（275万108人）に比べ患者数は13万6,242人（外来患者14万1,468人の増、入院患者5,226の減）、5.0%増加している。また、1日平均入院・外来患者数は10,224人となっている。

### 3 下水道事業

下水道事業において、処理場の現在晴天時処理能力 94 万 8,886 m<sup>3</sup>/日、下水管布設延長 1 万 9,452km を有し、年間有収水量（流域下水道分は除く。）は 4 億 8,406 万 m<sup>3</sup> となっており、前年度（4 億 8,731 万 8 千 m<sup>3</sup>）に比べ 325 万 8 千 m<sup>3</sup>、0.7% 減少している。

### 第 3 節 決算規模

決算規模は 4,241 億 35 百万円で、前年度に比べ 16 億 36 百万円、0.4% の増加となり、2 年連続の増加となった。

事業別にみると、下水道事業が最も大きく、次いで病院事業、水道事業となっており、3 事業で全体の約 94% を占めている。

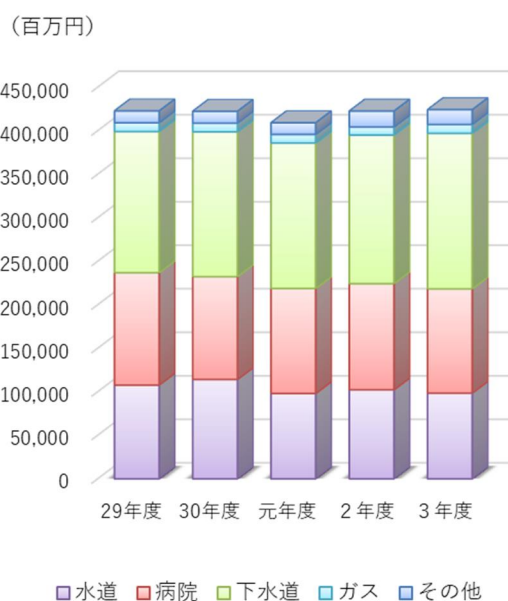
（単位：百万円、%）

事業	平成		令和			対前年度比較	
	29年度	30年度	元年度	2年度 (A)	3年度 (B)	増減数 (B)-(A)	増減率 (B)-(A)/(A)
水道	107,661	114,087	97,967	102,228	98,419	▲ 3,809	▲ 3.7
病院	129,111	118,158	120,709	121,961	119,782	▲ 2,179	▲ 1.8
下水道	162,243	166,479	167,163	170,778	178,697	7,919	4.6
ガス	10,033	9,929	9,851	9,220	10,282	1,061	11.5
その他	13,669	13,619	13,406	18,312	16,955	▲ 1,357	▲ 7.4
合計	422,717	422,272	409,096	422,499	424,135	1,636	0.4

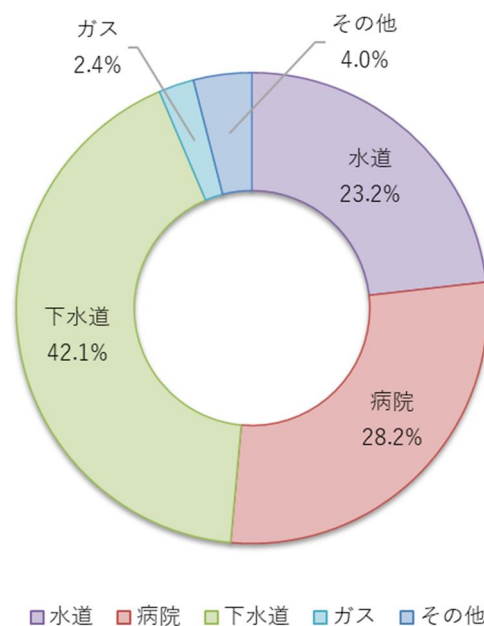
（注）決算規模の算出は、次の算式によっている。

- ・法適用企業の場合：総費用（税込み）－減価償却費＋資本的支出
- ・法非適用企業の場合：総費用＋資本的支出＋積立金＋繰上充用金

決算規模の推移



決算規模の状況



## 第4節 全体の経営状況

経営状況（総収支）は、公営企業全体で230億33百万円の黒字となり、病院事業において新型コロナウイルス感染症対応に係る国庫補助金等が前年度に引き続き交付され、黒字が拡大したことなどから、前年度に比べ65億76百万円、40.0%増加した。

なお、黒字事業は前年度に比べ5事業増え、161事業で、黒字事業の全体事業数に対する割合は89.9%を占めており、前年度に比べ3.7ポイント増加した。

※「黒字」・・・法適用事業では純利益が発生、法非適用事業では実質収支がプラス（0を含む）  
「赤字」・・・法適用事業では純損失が発生、法非適用事業では実質収支がマイナス

（単位：百万円、%）

区分・年度 事業	令和2年度①			令和3年度②			増減額③ (②-①)	増減率 ③÷①×100
	黒字額	赤字額	差引	黒字額	赤字額	差引	差引	
水道(法適用) [事業数]	8,261 [34]	2,192 [8]	6,069	8,946 [37]	452 [5]	8,494	2,424	39.9
病院(法適用) [事業数]	3,983 [13]	892 [7]	3,092	6,836 [14]	307 [6]	6,529	3,438	111.2
下水道 [事業数]	6,654 [62]	198 [6]	6,456	7,496 [65]	158 [4]	7,338	881	13.7
うち法適用 [事業数]	6,583 [41]	198 [6]	6,385	7,441 [44]	158 [4]	7,283	898	14.1
うち法非適用 [事業数]	71 [21]	0 [0]	71	54 [21]	0 [0]	54	▲17	▲23.8
ガス(法適用) [事業数]	416 [4]	30 [2]	386	306 [4]	70 [2]	235	▲150	▲39.0
その他 [事業数]	542 [43]	89 [2]	453	515 [41]	79 [1]	437	▲16	▲3.6
うち法適用 [事業数]	33 [3]	89 [2]	▲56	31 [3]	79 [1]	▲47	9	▲15.6
うち法非適用 [事業数]	509 [40]	0 [0]	509	484 [38]	0 [0]	484	▲25	▲4.9
合計 [事業数]	19,857 [156]	3,401 [25]	16,456	24,099 [161]	1,066 [18]	23,033	6,576	40.0

## 第5節 料金収入

料金収入は2,267億90百万円であり、病院事業において、入院や外来診療が増加したことなどから、前年度に比べ55億86百万円、2.5%増加した。

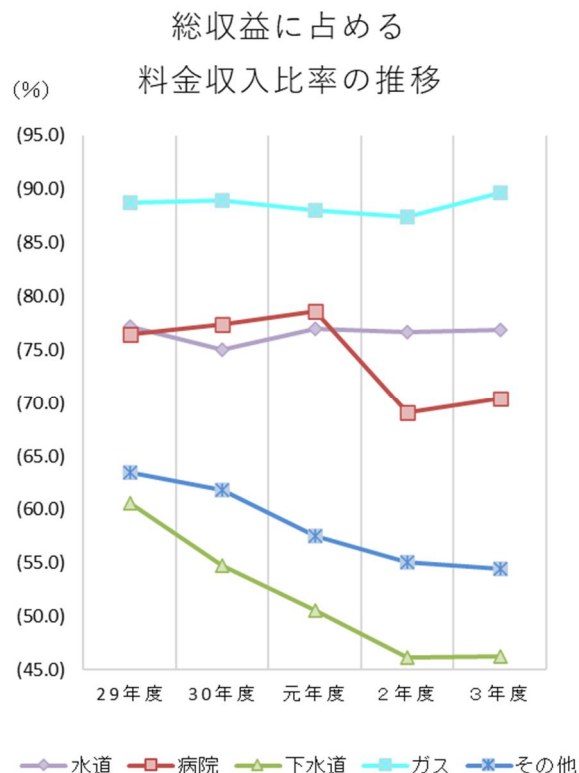
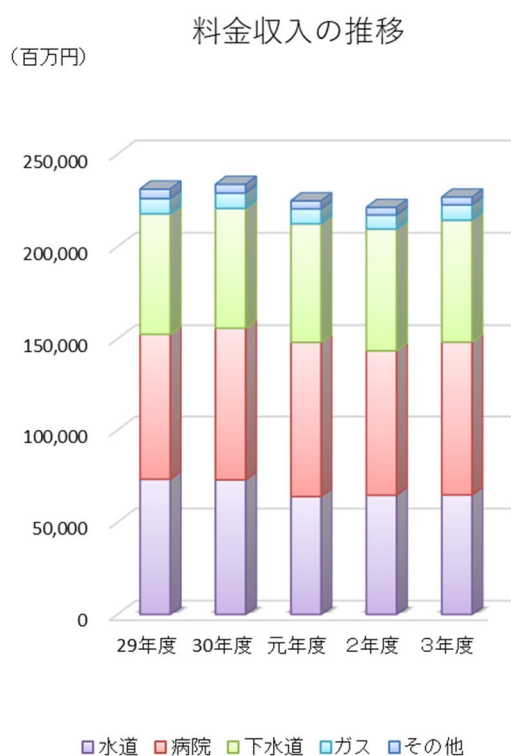
事業別にみると、病院事業が最も多く、次いで下水道事業、水道事業となっており、3事業で全体の約94%を占めている。

総収益に占める料金収入の割合は、下水道事業で46.2%と他の事業に比べ低くなっている。

(単位：百万円、%)

事業	平成		令和			対前年度比較	
	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	増減数 (B)-(A)	増減率 (B)-(A)/(A)
水道	73,400 (77.2)	73,017 (75.0)	64,002 (76.9)	64,697 (76.7)	64,845 (76.8)	148	0.2
病院	79,155 (76.5)	82,808 (77.4)	84,137 (78.7)	78,919 (69.1)	83,429 (70.4)	4,510	5.7
下水道	65,155 (60.6)	64,863 (54.8)	64,197 (50.6)	65,871 (46.1)	65,987 (46.2)	116	0.2
ガス	8,283 (88.7)	8,304 (88.9)	8,094 (88.0)	7,588 (87.4)	8,329 (89.7)	741	9.8
その他	5,149 (63.4)	4,705 (61.8)	4,329 (57.5)	4,129 (55.1)	4,200 (54.5)	71	1.7
合計	231,142 (71.4)	233,697 (68.8)	224,759 (67.3)	221,204 (61.9)	226,790 (62.5)	5,586	2.5

(注) ( ) 内の数値は、総収益に占める料金収入比率である。



## 第6節 企業債

### 1 企業債発行額

企業債発行額は570億91百万円で、前年度に比べ10億62百万円、1.8%減少した。

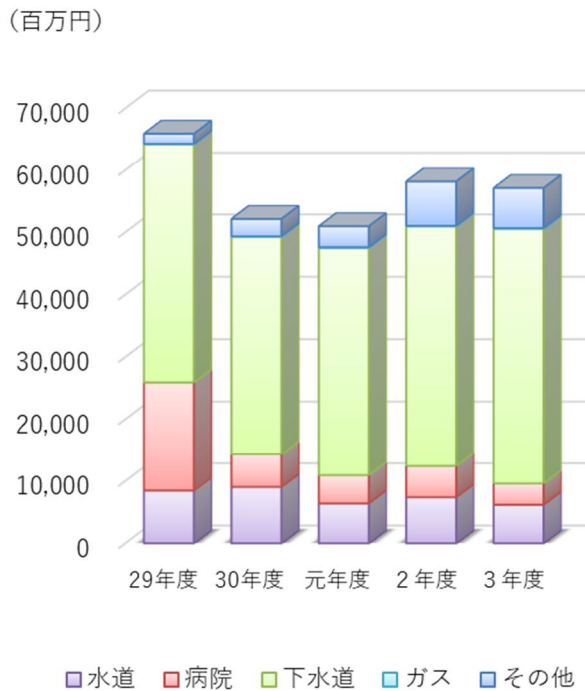
事業別にみると、下水道事業が最も多く全体の約72%を占め、次いで水道事業、病院事業となっている。

(単位：百万円、%)

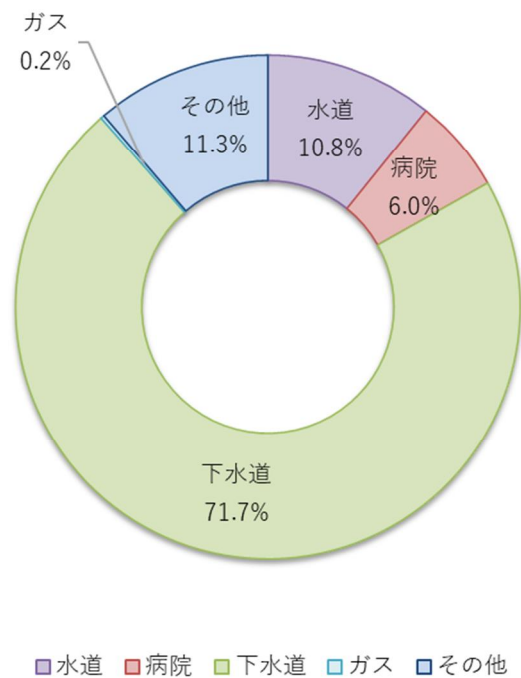
事業	平成		令和		対前年度比較		
	29年度	30年度	元年度	2年度 (A)	3年度 (B)	増減数 (B)-(A)	増減率 (B)-(A)/(A)
水道	8,474	9,035	6,395	7,390	6,160	▲ 1,230	▲ 16.6
病院	17,438	5,278	4,547	5,029	3,454	▲ 1,575	▲ 31.3
下水道	38,302	34,950	36,537	38,520	40,916	2,396	6.2
ガス	60	60	118	90	130	40	44.4
その他	1,647	2,804	3,356	7,124	6,431	▲ 693	▲ 9.7
合計	65,922	52,127	50,952	58,153	57,091	▲ 1,062	▲ 1.8

(注) 企業債発行額には、前年度同意等債で当年度収入分及び借換債を含み、当年度同意等債で未収入分は含まない。

企業債発行額の推移



企業債発行額の状況



## 2 企業債現在高

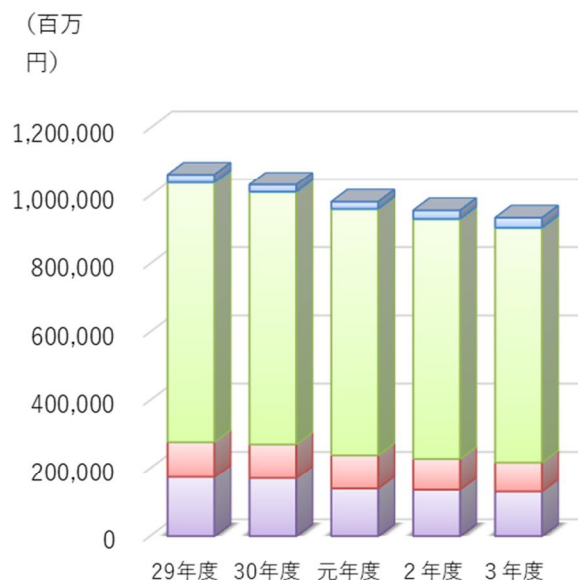
企業債現在高は、9,346億6百万円で、前年度に比べ217億79百万円、2.3%減少した。

事業別にみると、下水道事業が最も多く全体の約74%を占め、次いで水道事業、病院事業となっている。

(単位：百万円、%)

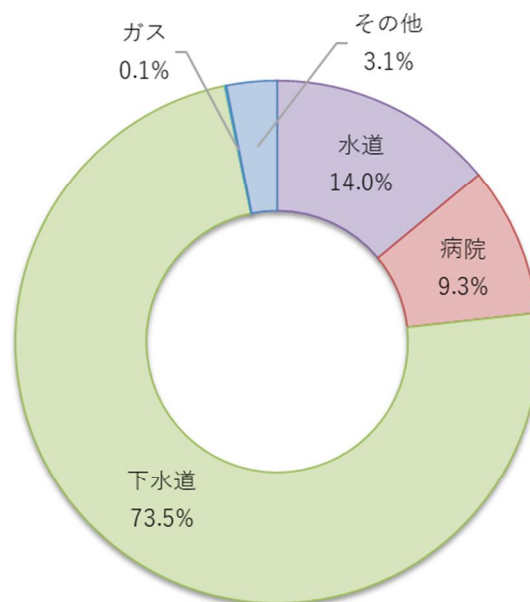
事業	平成		令和			対前年度比較	
	29年度	30年度	元年度	2年度 (A)	3年度 (B)	増減数 (B)-(A)	増減率 (B)-(A)/(A)
水道	173,586	170,270	139,510	135,767	130,709	▲ 5,057	▲ 3.7
病院	103,561	100,192	99,302	92,201	86,616	▲ 5,585	▲ 6.1
下水道	761,475	739,927	720,996	702,403	687,244	▲ 15,159	▲ 2.2
ガス	1,096	1,025	1,015	977	982	5	0.5
その他	22,987	20,981	20,957	25,037	29,054	4,017	16.0
合計	1,062,704	1,032,394	981,780	956,385	934,606	▲ 21,779	▲ 2.3

企業債現在高の推移



■水道 ■病院 ■下水道 ■ガス ■その他

企業債現在高の状況



■水道 ■病院 ■下水道 ■ガス ■その他

### 3 企業債元利償還金

企業債元利償還金は923億18百万円で、前年度に比べ33億52百万円、3.5%減少した。

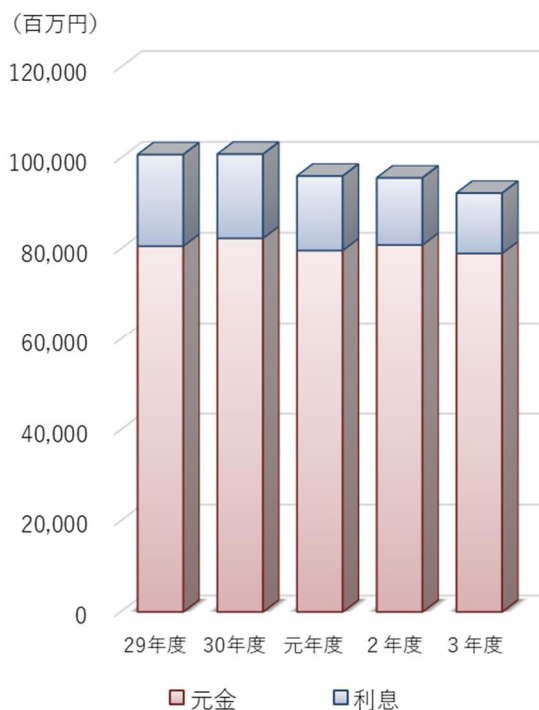
元金償還金は18億52百万円、2.3%減少しており、利払いは15億円、10.1%減少した。

事業別にみると、下水道事業が最も多く全体の約72%を占め、次いで水道事業、病院事業となっている。

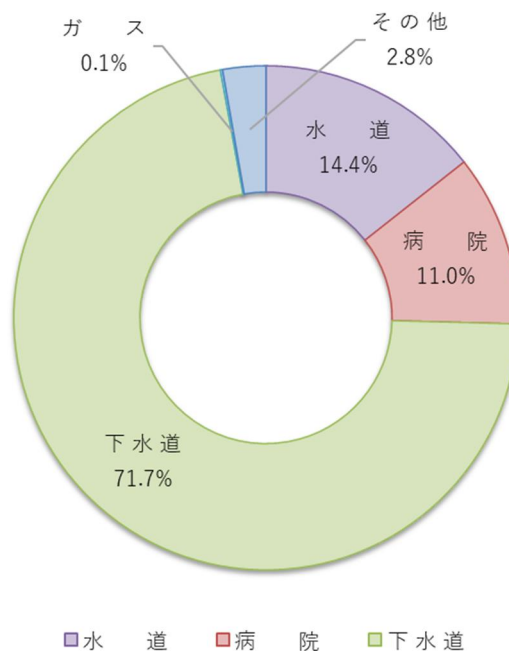
(単位：百万円、%)

事業	平成		令和			対前年度比較	
	29年度	30年度	元年度	2年度 (A)	3年度 (B)	増減数 (B)-(A)	増減率 (B)-(A)/(A)
水道	16,841	15,569	13,139	13,370	13,275	▲ 94	▲ 0.7
病院	9,995	10,180	10,746	10,466	10,186	▲ 280	▲ 2.7
下水道	70,503	70,027	68,537	68,537	66,179	▲ 2,358	▲ 3.4
ガス	177	146	140	138	133	▲ 4	▲ 3.0
その他	3,279	4,967	3,516	3,159	2,544	▲ 615	▲ 19.5
合計	100,795	100,888	96,078	95,670	92,318	▲ 3,352	▲ 3.5
うち利息	20,161	18,526	16,405	14,795	13,295	▲ 1,500	▲ 10.1
うち元金	80,633	82,362	79,673	80,875	79,022	▲ 1,852	▲ 2.3

元利償還金の推移



元利償還金の状況



## 第7節 他会計繰入金

他会計繰入金は709億64百万円で、前年度に比べ45億55百万円、6.0%減少した。

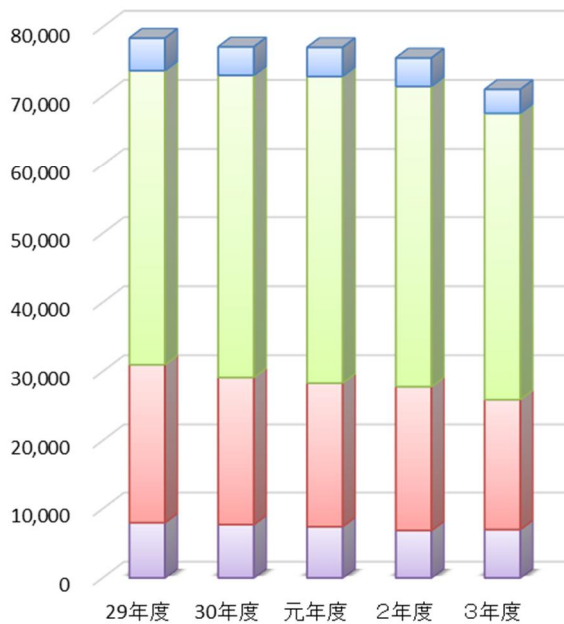
事業別にみると、下水道事業が最も多く全体の約58%を占め、次いで病院事業、水道事業となっている。

(単位：百万円、%)

事業	年度	平成		令和			対前年度比較	
		29年度	30年度	元年度	2年度 (A)	3年度 (B)	増減数 (B)-(A)	増減率 (B)-(A)/(A)
水道		7,973	7,700	7,407	6,839	6,979	140	2.0
病院		22,994	21,418	20,899	20,948	18,934	▲ 2,015	▲ 9.6
下水道		42,715	43,886	44,527	43,609	41,587	▲ 2,022	▲ 4.6
ガス		1	1	5	5	6	1	21.8
その他		4,700	4,118	4,210	4,117	3,458	▲ 660	▲ 16.0
合計		78,382	77,123	77,049	75,519	70,964	▲ 4,555	▲ 6.0

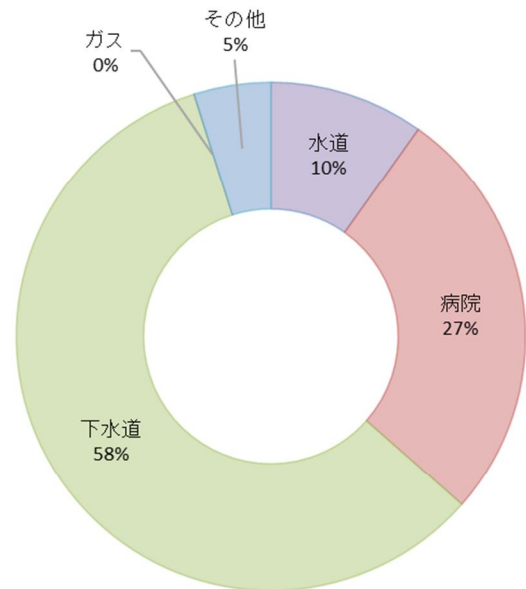
他会計繰入金の推移

(百万円)



■水道 ■病院 ■下水道 ■ガス ■その他

他会計繰入金の状況



■水道 ■病院 ■下水道 ■ガス ■その他



## 第8節 建設投資額

建設投資額は1,042億83百万円で、前年度に比べ74億62百万円、7.7%増加した。

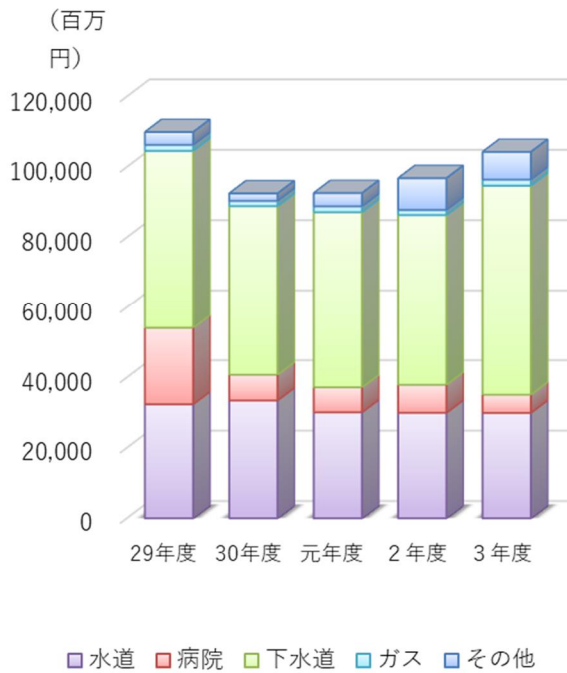
事業別にみると、下水道事業が最も多く全体の約57%を占め、次いで水道事業、病院事業となっている。

(単位：百万円、%)

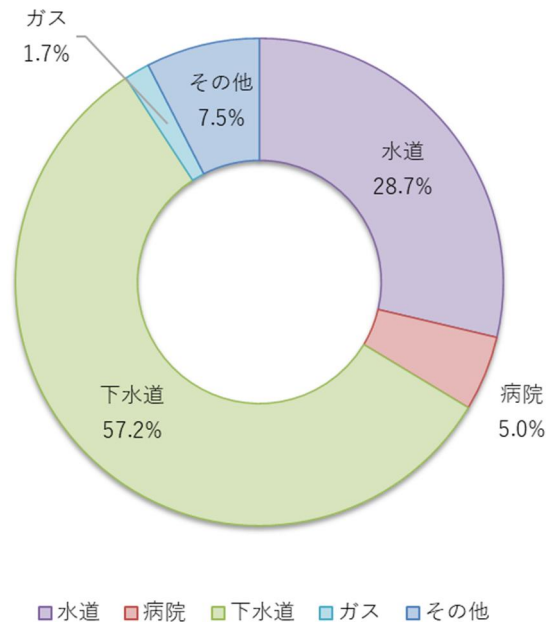
事業	平成		令和			対前年度比較	
	29年度	30年度	元年度	2年度 (A)	3年度 (B)	増減数 (B)-(A)	増減率 (B)-(A)/(A)
水道	32,360	33,457	30,076	29,942	29,906	▲ 35	▲ 0.1
病院	21,765	7,304	7,095	7,974	5,172	▲ 2,802	▲ 35.1
下水道	50,437	48,108	50,001	48,410	59,602	11,192	23.1
ガス	1,689	1,500	1,645	1,489	1,747	258	17.4
その他	3,667	2,135	3,784	9,007	7,855	▲ 1,152	▲ 12.8
合計	109,917	92,505	92,600	96,821	104,283	7,462	7.7

(注) 建設投資額とは、資本的支出の建設改良費である。

建設投資額の推移



建設投資額の状況



## 第9節 累積欠損金（法適用事業のみ）

累積欠損金は、20事業で354億95百万円となっており、前年度に比べ35億95百万円、9.2%減少した。

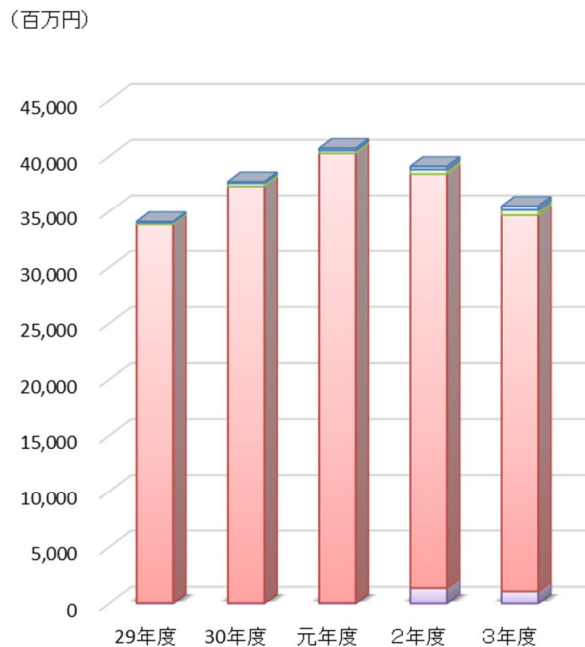
事業別では、病院事業が13事業で335億91百万円となっており、累積欠損金総額のほとんどを占めている。

（単位：百万円、%）

事業	年度	平成		令和		対前年度比較		
		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	増減数 (B)-(A)	増減率 (B)-(A)/(A)
水道		41	28	39	1,365	1,071	▲ 294	▲ 21.6
病院		33,795	37,262	40,214	37,043	33,591	▲ 3,452	▲ 9.3
下水道		161	288	260	392	487	95	24.2
ガス		0	0	0	0	0	0	
その他		82	126	200	289	345	56	19.5
合計		34,080	37,704	40,713	39,090	35,495	▲ 3,595	▲ 9.2

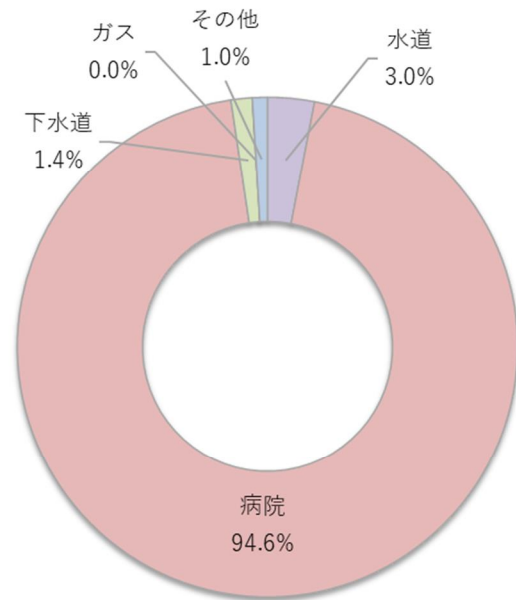
（注）累積欠損金は、法適用企業のみ対象としている。

累積欠損金の推移



■水道 ■病院 ■下水道 ■ガス ■その他

累積欠損金の状況



■水道 ■病院 ■下水道 ■ガス ■その他

## 第10節 経営健全化等の状況

### 1 地方公営企業の経営健全化対策等の状況

本県においては、経営健全化措置の対象となる事業は発生していない。

### 2 地方債の発行に許可を要する公営企業の状況

本県においては、地方財政法第5条の4第3項により地方債を起こす場合に許可を要することとなる公営企業会計はない。

### 3 資金不足比率の状況

本県においては、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく資金不足比率について、経営健全化基準（20%）以上となっている会計はない。